

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	日本文化D		
英文授業科目名	Japanese Culture D		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-日本語・日本文化科目-日本文化科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	亀井 奈保美 (学内連絡教官)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
nkamei@par.odn.ne.jp	

【主題および達成目標】
(a) 主題：幕末か辿り代までの日本の歴史を学ぶ。 (b) 達成目標：歴史的事項についての様々な歴史認識とその背景を学ぶ。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
日本文化C

【教科書等】
教科書：『新しい社会 歴史』東京書籍

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容：

武士道、幕末の動乱、明治維新、日清戦争、日露戦争、第二次世界大戦、大正時代、日中戦争、第二次世界大戦、戦後復興、戦後問題など。

(b) 授業の進め方：

ビデオ、教科書、その他資料を通して学び、さらにディスカッションにより意見交換をし、より深く考えていく。

授業で学んだ事項についての疑問点、さらに学びたい点などを整理し授業のまとめとして毎回提出する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

成績評価	出席	20%
	授業参加	10%
	提出物	20%
	小レポート	20%
	期末レポート	30%

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とする。

- ・授業内でのディスカッションに積極的に参加し自分の意見を述べる。
- ・毎回授業の最後に提出物を出す。
- ・期限内に小レポートを提出し、発表をする。
- ・期限内に期末レポートを提出する。期末レポートでは、問題点について客観的な資料を集めそれについて自分の意見が書けるようにする。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるので、事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

【その他】